

### 構成部品の特徴 ①パラ・ショック・ダンパーを採用した《軸受構造》

音響的フィードバックに対し2個のダンパーが、シリーズ・ダンピング効果を発揮し針圧0.1gでもトレースできる能力をもっています。

### 構成部品の特徴 ②クイック・バランスを実現した《シングル・ウェイト方式》

1個のメイン・ウェイトと、その上を前後にスライドするリング・ウェイトで、自重の異なる内外のカートリッジをすべてカバーし、バランスも針圧もきわめて容易に決定できます。(但し、オルトフォン旧型SPU-Gのみ付属のサブ・ウェイトが必要)

### 構成部品の特徴 ③テーパード・リップで堅牢無比の《軽量ヘッド・シェル》

軽合金ダイキャスト・シェル、テーパード・リップにより、著しく強度を増し、振れ共振は絶無。強度対重量の比が他のいかなるシェルよりも大きい、理想的シェルです。

### 構成部品の特徴 ④ピボット・ローラーによる《インサイド・フォース・キャンセラー》

S字型パイプは、従来よりオフセット角の最適値を選んであるため、インサイド・フォースの値はふつうより小さいのですが、特にハイ・コンプライアンスのカートリッジを軽針圧で使うときのために、高感度キャンセラーを開発。一層トレース性能が高まりました。バランスを取るとき、横流れを防止するため、キャンセラーを簡単にロックすることもできて、使いやすさの点でも申し分のないものです。この他にも、アーム・リフトの精度向上、ノイズ・レス・リード線の採用、シェル指掛けの合理的デザインなど、全面的な改良が施されています。

